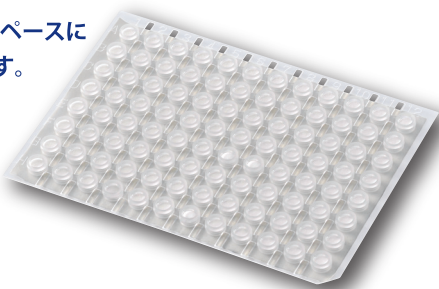
WATSON BIO LAB ——— 取扱説明書

プリザベーションプレート

（核酸（血液中を含む）、微生物）

**核酸や微生物を小スペースに
サンプル保存できます。**

品名	プリザベーションプレート（セルロース）
カタログNo.	176-501C
プレート寸法	80 ㎜ ×115 ㎜ ×1 ㎜
サンプル保存数	96 箇所 /1 プレート
ペーパーチップ吸着溶液量	5 μl / 1 箇所（水溶液の場合）
ペーパーチップ可能サンプル含有量	1 μl / 1 箇所（核酸の場合）
溶出効率	約 90%（オリゴヌクレオチドの場合）
サンプル保存温度	25℃以下（長期保存は冷蔵推奨）
付属品	取扱説明書

※ご使用前に、本書を必ずお読みになり、本書は大切に保管してください。
※プリザベーションプレートは文部科学省知的クラスター創成事業＜徳島地域野地グループ（徳島大学）＞の研究成果を商品化したものです。
特許第4719892号

ご使用上の注意

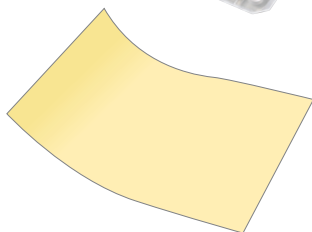
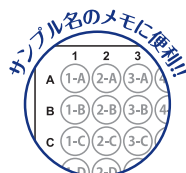
- 研究目的以外で使用しないでください。
- 手袋とマスクを着用して作業を行ってください。
- ディスポーザブル製品です。再利用をしないでください。
- オートクレーブ滅菌をしないでください。
- 開封後は高温多湿な環境を避けて保管してください。
- サンプル保存には光、埃、多湿な環境を避けてください。
- 保存期間はサンプルの純度や保管状態により変動します。
（純度の高い核酸は乾燥状態では殆ど分解しません）
- 保存期間を把握したい場合は、半減期テストを実施ください。
［半減期：t（1/2）=ln2/{ln（100）-ln（1ヵ月後の残存率）}］

発売元：**ワトソン株式会社**
東日本営業所
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-37-22
TEL：03-5823-8608 FAX：03-5823-8609
西日本営業所
〒651-2241 神戸市西区室谷2-2-7
TEL: 078-991-4489 FAX: 078-991-4491
E-mail：tcr@watson.co.jp
製造元：**深江化成株式会社**

http://www.watson.co.jp　watson　検索

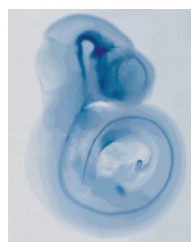
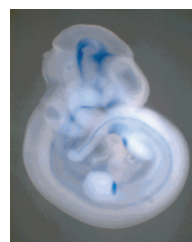
プリザベーションプレート（セルロース）96ウェル セット内容

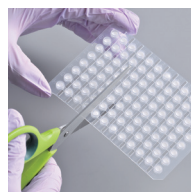
■ プリザベーションプレート
96ウェル・・・5枚

■ 保護シール・・・5枚

■ 取扱説明書（本紙）・・・1枚

96ウェルプレート アドレスシート　※ご自由にダウンロードしてお使いください。

A4版 http://www.watson.co.jp/pdf/96AddressSheet_A4.pdf
B5版 http://www.watson.co.jp/pdf/96AddressSheet_B5.pdf

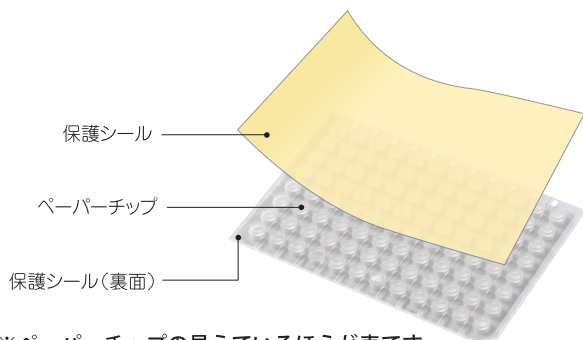
プリザベーションプレート 使用例

合成オリゴRNAプローブの保存とISH
（ISH:in situ hybridization）

プローブ常温保存
1 週間目

プローブ常温保存
4 ヶ月目

不慣れな手で操作をすると RNase を混入して、実験に支障をきたすことがあります。1 回の ISH に使用する量ずつ PVP に分注して乾燥、保存しておけば、毎回変わらずに使用することができます。保存期間は常温で 4 ヶ月以上。

好みの大きさにカットして
使えます。

既存の 96 ウェルプレート
にピッタリのサイズ。

サンプルの保存

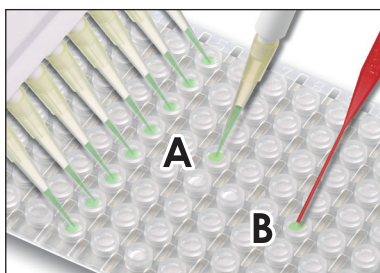
①保護シールとプレートが入っているか確認します。

※ペーパーチップの見えているほうが表です。

②サンプルをペーパーチップに吸着させます。

A. 液状サンプルの場合

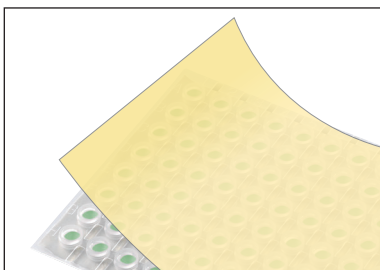
一度に 5 μl 分注できます。
これより試料が多い場合は
数回に分けて分注と乾燥を
繰り返します。

B. 寒天培地から採取する場合

コロニーなどの微生物塊を
寒天培地からピッキングし
直接ペーパーチップに塗り付けます。

③常温で完全に乾燥させます。

目安として最低 1 時間乾燥させてください。
減圧乾燥することをお勧めします。
加熱乾燥する場合には器材の劣化を防ぐため 50℃以下にしてください。
保存する試料がその温度で劣化しないことをあらかじめご確認ください。
※乾燥が不十分な場合、性能を発揮できません。

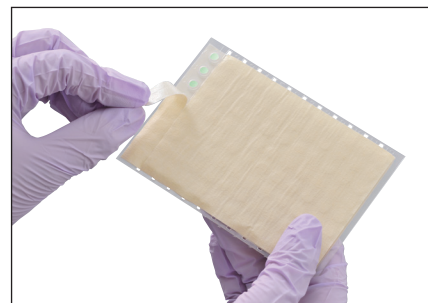
④保護シールを貼ります。

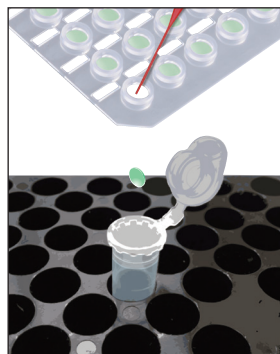
※隙間があるとコンタミの恐れがあります。
　しっかりと貼り付けて下さい。

⑤保存方法

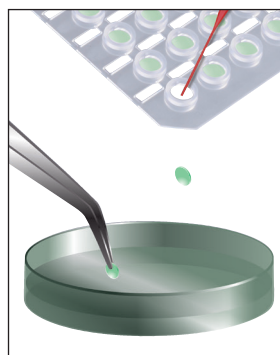
高温、多湿、強い光線を避けて保存してください。密閉容器に乾燥剤とともに入れて冷暗所に保存することをお勧めします。分解酵素などで汚染していない純度の高い核酸などは室温で保存が可能です。
冷凍保存は結露による試料の汚染や凍結融解による試料の劣化の恐れがあるためお勧めできません。また−40℃以下では器材が劣化して破損する恐れがありますのでおやめください。
保存できる期間は試料の種類、純度、環境により変化します。必要に応じて試料の半減期テストを実施してください。

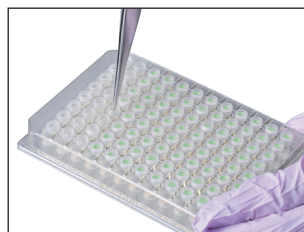
サンプルの復元

①保護シールを両面とも剥がします。

数列ずつ剥がす場合は、あらかじめカッターやハサミで切り目を入れると簡単に剥がせます。

②ペーパーチップを押し出して、サンプルをチューブなどに落とします。

■ **チューブの場合**

溶出液を加えて撹拌し溶出します。
ヌクレオチドでは 3 分で
およそ 90%の溶出が可能です。
プライマーやプローブとしての利用では
試料を溶出するステップを省いて、
反応液に直接ペーパーチップのまま
投入可能です。

■ **寒天培地の場合**

寒天培地の場合はペーパーチップを
培地に擦り付けてください。

● **各種 96 穴プレートの規格に合ったサイズなので、
96 ウェルプリザベーションプレートと重ね合わせて使用すると、
簡単にペーパーチップをプレート側に移すことができます。**

ピンセット等で簡単に
ペーパーチップを押し出せます。

φ4.5㎜までのピンツールなど
でも押し出し可能です。